

平成 30 年 度

福 岡 女 子 大 学 大 学 院
人 間 環 境 科 学 研 究 科 人 間 環 境 科 学 専 攻
【 博 士 後 期 課 程 】
案 内

(付) 平成 30 年 度 福 岡 女 子 大 学 大 学 院
人 間 環 境 科 学 研 究 科 人 間 環 境 科 学 専 攻
【 博 士 後 期 課 程 】
学 生 募 集 要 項
(一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜)

公立大学法人
福岡女子大学

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号
電話 (092) 661-2411(代表)
URL <http://www.fwu.ac.jp/>

目 次

1	福岡女子大学の沿革	1
2	福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科人間環境科学専攻【博士後期課程】の 特色とアドミッションポリシー	1
3	教育課程の編成	2
4	授業科目	4
5	研究内容	7
6	交通案内	8

(付) ○ 平成30年度福岡女子大学大学院
人間環境科学研究科人間環境科学専攻【博士後期課程】学生募集要綱

- 入学願書
- 受験票
- 研究希望調書
- 受験許可書
- 在職期間証明書
- 入学者選拔出願資格認定申請書
- 入学考査料振込金証明書貼付用紙
- 入学考査料振込依頼書

1 福岡女子大学の沿革

福岡女子大学の前身は、大正 12 年(1923 年)にわが国最初の公立女子専門学校として設置された福岡県女子専門学校(文科、家政科)である。昭和 25 年(1950 年)の学制改革に応じて福岡女子大学となり、当初は学芸学部(国文学科、英文学科、生活科学科)のみの単科大学として発足したが、昭和 29 年(1954 年)に文学部(国文学科、英文学科)と家政学部(家政学科、家庭理学科)の 2 学部構成となった。平成 5 年(1993 年)に、大学院文学研究科修士課程(国文学専攻、英文学専攻)が開設され、平成 9 年(1997 年)にはさらに英文学専攻の博士後期課程が設置された。一方、家政学部は平成 7 年(1995 年)に人間環境学部(環境理学科、栄養健康科学科、生活環境学科)に改組された後、平成 12 年(2000 年)に、大学院人間環境学研究科修士課程(環境理学専攻、栄養健康科学専攻、生活環境学専攻)が設置された。

平成 18 年(2006 年)より公立大学法人福岡女子大学となってさらに大学改革が推進され、平成 23 年(2011 年)には新たに、国際化、多様化する社会で幅広く活躍できる女性リーダーの育成を基本理念とする 1 学部 3 学科体制の国際文理学部(国際教養学科、環境科学科、食・健康学科)が設置された。この学部理念のもとに、既設の人間環境学研究科を充実・発展させた新たな専門教育研究機関としての大学院人間環境科学研究科が平成 27 年(2015 年)4 月に開設された。

このように本学は開学以来 93 年の歴史と伝統をもち、その間に送り出した卒業生・大学院修了生は各方面で活躍し、広く社会に貢献している。

さらに、修士課程の学年進行が完成する平成 29 年 4 月に、それぞれの研究科において、博士後期課程を設置する。人間環境科学研究科博士後期課程では、修士課程で統合化された教育研究体制を維持しつつ、さらに高度化された教育研究を実施するため、人間環境科学専攻の中に「環境科学領域」と「栄養健康科学領域」の 2 領域を設定する。

2 福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科人間環境科学専攻【博士後期課程】の特色とアドミッションポリシー

本研究科は、生活科学・理学・工学・社会科学といった学問領域を統合化することによって、健康科学と環境科学及びその基盤である自然科学の観点から、「健康な生活を支える環境調和型社会づくり」を目指す「人間環境科学」の発展に寄与する。そのため、環境科学領域、栄養健康科学領域を設置し、高度な研究能力と知識を持ち、創造性に富む人材の育成を教育理念としている。

本専攻の学生には、教員と学生の距離が近い少人数教育の利点を生かして実験・実習・フィールドワークを自主的に実施し、大学院での学びを積極的に社会に還元することが求められる。

したがって、学生には下記のような能力・意欲を期待する。

- (1) 健康・環境分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心や創造性に富んでいること。
- (2) 研究・実験に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持っていること。
- (3) 化学や生物学を中心とする一般的な自然科学の知識を有していること
- (4) 健康環境・自然環境・生活環境に関わる現実的諸問題に関心が高いこと
- (5) 研究成果を健康な生活を支える環境調和型社会の創生のために社会に提案・還元する意欲を有すること。

また、意欲ある社会人の入学を促進するために、入学時における自らの計画と申告に基づき、標準修業年限を超える年限で課程を修了することを認める「長期履修学生制度」を導入する。

領域ごとのアドミッション・ポリシーは以下のとおりである。

●環境科学領域

環境科学領域は、「人間環境科学」が対象とする人（ヒト）をめぐる環境に関連した複雑で多岐にわたる現象を、自然科学を基に学際融合的に教育研究し、次世代を担う人材を養成する。また、生活するヒトの生理、心理、行動の特性を明らかにし、ヒトと環境の相互作用について研究教育を行う。

具体的には、分子・細胞・個体やそれらをつなぐエネルギーや物質循環といった自然環境について、物質科学と生命科学の角度から実験・理論の研究及び教育を行う。さらには、都市・住居デザインの提案・設計、人間の心理・生理機能や行動様式の解析ならびにそれに基づく生活空間の設計、ユニバーサルデザインに基づいた都市・空間の評価と設計、環境変動に伴うヒトの行動様式などへの影響に関するデータ収集・分析を行う。

本領域では、自然科学分野に関心が深く、自らを高める向上心に満ち、かつ知的好奇心や創造性に富んだ人材を期待する。また、生活環境と人間に関わる現実的諸問題に関心が高いこと、研究成果を具体的なデザインとして社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

●栄養健康科学領域

栄養健康科学領域では、栄養と健康に関する基礎研究から応用開発や臨床対応にいたる領域を対象とし、健全な食生活を構築するとともに、生活習慣病の成因や予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目的としている。そのため、食と栄養に関する高度専門職業人として、病院等の医療職、食品企業の研究者や開発者、教育機関における教育者・研究者を育成する。

本領域では健康、食品の品質、嗜好性、機能、安全性、代謝、疾病との関連など食を取りまく諸問題を栄養学、生化学、分子・細胞生物学、疫学などを用い、食品科学と栄養科学の両面から教育・研究を行う。

学生には実験・調査等の研究活動に対し、積極的かつ主体的に取り組む姿勢を持つことを求める。すなわち、食と健康との関連性やその探究について特に高い関心を持ち、諸問題の成因や解決に向けた研究への取り組みや、その成果を社会に提案・還元する意欲を有する学生を求める。

3 教育課程の編成

人間環境科学研究科 博士後期課程の教育課程では、高度な専門性を獲得するための教育に加えて、課題発見力、課題解決力や、俯瞰的な視野を養うための教育を実施する。この目的を達成するために、教育課程の編成において、専門科目や研究指導科目の他に、基礎科目を設ける。

基礎科目（「キャリア・デザインとライフ・プラン」、「デザイン思考」、「リーダーシップ特別演習」、「研究の倫理と方法」）では、将来どの分野に進んでも重要となる自立した女性研究者としてのキャリア形成、また、課題設定、課題解決力や倫理観を醸成する。

専門科目では、幅広い視野を得るために、専門分野以外の学問分野について調査、発表する演習科目（「人間環境科学特殊演習」）、国内外の社会での実践で貢献できる人材育成を目指して、大学・公的機関・民間企業等での体験学習を実施するキャリア科目（「専門職特殊研修」）、卒業研究指導や学

生実験指導の補助を行う研修科目（人間環境科学特殊研修）を設定している。これらの専門科目は全て選択科目とするが、より独創的な研究、社会との密接なつながりを意識させるとともに、さらに幅広い視野を養う機会であるので、学生に対しては積極的に受講することを指導する。

研究指導科目においては、それぞれの領域の専門性を高めた環境科学特殊研究または栄養健康科学特殊研究を履修する。各領域における最先端研究の実践を通して、自立した研究者に必要な研究推進能力を鍛える。研究の過程で学術論文作成力や学会でのプレゼンテーション能力も磨く。

人間環境科学研究科人間環境科学専攻 博士後期課程のカリキュラムの構成

区分	授業名	単位数	授業形態
基礎科目 (選択) 2 単位	キャリア・デザインとライフ・プラン	2	講義
	デザイン思考	2	演習
	リーダーシップ特別演習	2	演習
	研究の倫理と方法	2	講義
専門科目 (選択) 4 単位	人間環境科学特殊演習	2	演習
	専門職特殊研修	2	実験・実習
	人間環境科学特殊研修	2	演習
研究指導科目 (必修) 12 単位	環境科学特殊研究Ⅰ	4	実験・実習
	環境科学特殊研究Ⅱ	4	実験・実習
	環境科学特殊研究Ⅲ	4	実験・実習
	栄養健康科学特殊研究Ⅰ	4	実験・実習
	栄養健康科学特殊研究Ⅱ	4	実験・実習
	栄養健康科学特殊研究Ⅲ	4	実験・実習

4 授業科目

科目 区分	授業科目の名称 (担当教員)	講義等の内容
基礎 科目	キャリア・デザインと ライフプラン (野依 智子)	女性学やジェンダー的視点から、企業や大学等における女性労働の現状やキャリア構築のための課題ならびに男女平等やワーク・ライフ・バランスを保障する国内外の法制度等を取りあげ、男女共同参画社会における「女性のライフキャリア」の探求や設計に関する具体的課題や可能性について多面的に学ぶ。
	デザイン思考 (田村 大)〈非常勤〉	人間を取り巻く複合的課題に対し、総合的学識や技術により解決に導く実践力を身に着けるために、デザイン志向のプロセスである着想 (inspiration)、アイディア化 (ideation)、実現 (implementation) を、リサーチやグループワークを通じて実践的に学ぶ。そして、イノベーションを実現する人材 (イノベーター、innovator) の育成を目指す。
	リーダーシップ特別演習 (平山 猛)〈非常勤〉	新しい何かを創造するためには、組織において互いの違いを生かしながら、新たなアイディアや価値観を生み出すことが重要である。安心して発信できる環境や場を作ること、それぞれが持つアイディアや思いを引き出すこと、人を巻き込み、その気にさせ、同じ思いを共有すること、そのようなリーダーシップが求められている。多様な意見の交換のなかから新たな発見や可能性、アイデアを見だし、個々の知恵を創造的な成果に結びつけることを支援するファシリテーションの技術を、演習を通じて学び、身につける。
	研究の倫理と方法 (下條 恵子)〈非常勤〉	研究活動とその成果である論文の適切な有り方が、国際的にも厳しく問われている。博士後期課程において研究に取り組むにあたって、遵守すべき研究の倫理とはなにか、また研究論文が満たすべき内容とそのため論文の作成の有り方について検討する。
専門 科目	人間環境科学特殊演習 (庄山 茂子) (馬 昌珍) (太田 雅規)	自立した幅広い視野を備えた研究者を養成するには、学生自身が行っている研究以外に新しい分野の研究開発能力を身につけることが大切である。このための教育の一環として自己の研究と直接関係のない他分野からテーマを選択し、その総説の作成を行う。選択したテーマに関連する論文10報程度を読み、報告書およびその概要をまとめるとともに、複数の教員(特に指導教員グループ以外の教員)の前で発表し、テーマの選定、研究手法の理解、まとめ方について批評を受け、それに的確に回答できることが必要である。

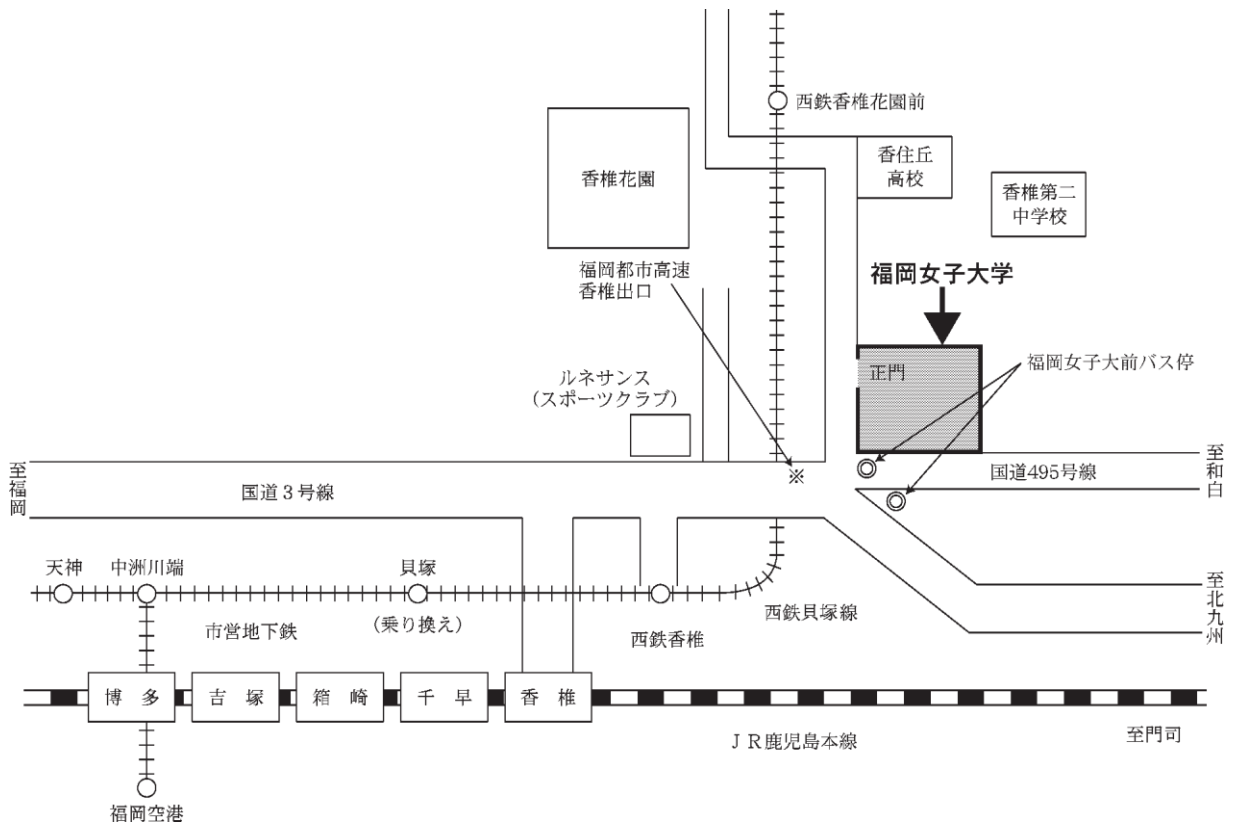
	<p>専門職特殊研修 (中村 強) (吉村 利夫) (豊貞 佳奈子)</p>	<p>インターンシップとは、「学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行える制度」である。この科目を修得する学生は、受け入れ先（企業、研究所など）での研修の中で、特定のプロジェクトに参加し、その中で実際に働くことを体験する。この体験のなかで、専門的知識を高めるとともに、プレゼンテーション能力、問題提起、問題解決能力、チームワーキングによる仕事の進め方を体得する。これらの体験を通し、自己の長所、短所を見つめ直し、自己鍛錬の機会とするとともに、将来の選択する職業に対する目的意識を育むことを目的とする。</p>
	<p>人間環境科学特殊研修 (各研究指導担当教員)</p>	<p>高度専門職業人や教育研究者に求められる資質を養うとともに責任感や倫理感、総合的に判断できる力、計画的に業務を遂行できるマネジメント能力を養うことを目的に、主指導教員の指導の下で、学部学生のカリキュラムにある実験・実習・演習の指導内容の企画・立案から積極的に参画し指導を行う。また、卒論研究についても適切な指導助言を行う。学部学生の実験・実習・演習においては2科目以上、卒論研究指導においては1年以上の指導を行う。</p>
<p>研究指導科目</p>	<p>環境科学特殊研究Ⅰ (森田 健) (池田 宜弘) (庄山 茂子) (吉村 利夫) (馬 昌珍) (猪股 伸幸) (松尾 亮太)</p>	<p>環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。環境科学特殊研究Ⅰでは、その第一段階として、学生は指導教員の助言の下で、博士論文のテーマを選定して研究計画書を提出し、研究活動をスタートする。このテーマに関する関連分野の論文の講読と内容の発表を行う。また、研究の方向性を探索することを主目的に実験研究を行う。</p>
	<p>環境科学特殊研究Ⅱ (森田 健) (池田 宜弘) (庄山 茂子) (吉村 利夫) (馬 昌珍) (猪股 伸幸) (松尾 亮太)</p>	<p>環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。環境科学特殊研究Ⅱでは、環境科学特殊研究Ⅰの最終段階で実施する研究中間報告会を受けて、研究の進捗状況を再確認し、必要に応じて軌道修正や研究計画の見直しを図る。研究計画に見直しを加えた上で、環境科学特殊研究Ⅰから進めてきた研究テーマをさらに進捗させる。環境科学特殊研究Ⅰの到達点を踏まえて、研究成果を取りまとめて、学会発表を行う。進捗状況に応じて、研究成果を論文に取りまとめる。</p>

<p>環境科学特殊研究Ⅲ (森田 健) (池田 宜弘) (庄山 茂子) (吉村 利夫) (馬 昌珍) (猪股 伸幸) (松尾 亮太)</p>	<p>環境科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に環境科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。環境科学特殊研究Ⅲでは、環境科学特殊研究Ⅱの研究成果を評価して、研究の方向性や仮説の妥当性について検証する。さらに問題点を洗い出して、問題点の解決のために必要な実験研究を実施する。一連の特別研究の集大成として、研究成果を博士論文としてまとめ結実させる。博士論文の作成と共に、研究成果を公聴会で発表することによって、広く第三者の評価を仰ぐ。</p>
<p>栄養健康科学特殊研究Ⅰ (中村 強) (濱田 俊) (太田 雅規) (新開 章司) (石川 洋哉)</p>	<p>栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。栄養健康科学特殊研究Ⅰでは、その第一段階として、学生は指導教員の助言の下で、博士論文のテーマを選定して研究計画書を提出し、研究活動をスタートする。このテーマに関する関連分野の論文の講読と内容の発表を行う。また、研究の方向性を探索することを主目的に実験研究を行う。</p>
<p>栄養健康科学特殊研究Ⅱ (中村 強) (濱田 俊) (太田 雅規) (新開 章司) (石川 洋哉)</p>	<p>栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。栄養健康科学特殊研究Ⅱでは、栄養健康科学特殊研究Ⅰの最終段階で実施する研究中間報告会を受けて、研究の進捗状況を再確認し、必要に応じて軌道修正や研究計画の見直しを図る。研究計画に見直しを加えた上で、栄養健康科学特殊研究Ⅰから進めてきた研究テーマをさらに進捗させる。栄養健康科学特殊研究Ⅰの到達点を踏まえて、研究成果を取りまとめて、学会発表を行う。進捗状況に応じて、研究成果を論文に取りまとめる。</p>
<p>栄養健康科学特殊研究Ⅲ (中村 強) (濱田 俊) (太田 雅規) (新開 章司) (石川 洋哉)</p>	<p>栄養健康科学特殊研究では、独創性の高い先進的な研究や調査活動を行い、最終的に栄養健康科学特殊研究Ⅲにおいて博士論文を完成させることを目的とする。栄養健康科学特殊研究Ⅲでは、栄養健康科学特殊研究Ⅱの研究成果を評価して、研究の方向性や仮説の妥当性について検証する。さらに問題点を洗い出して、問題点の解決のために必要な実験研究を実施する。一連の特別研究の集大成として、研究成果を博士論文としてまとめ結実させる。博士論文の作成と共に、研究成果を公聴会で発表することによって、広く第三者の評価を仰ぐ。</p>

5 研究内容

	研究室	担当教員	主な研究内容
環境科学領域	物理化学	池田宜弘	物理化学・熱力学・統計力学の学問領域の研究手法を用いて、界面現象および界面における両親媒性物質の挙動の解明に関する研究
	高分子材料学	吉村利夫	生活材料学の観点から、環境調和型高分子材料の創製に関する研究
	大気環境学	馬 昌珍	生活環境から地域・地球規模までの様々な大気環境問題に関する研究
	進化遺伝学	猪股伸幸	野生生物の集団遺伝構造および生物進化機構に関する研究
	神経生物学	松尾亮太	分子生物学・組織化学・生理学的研究手法を用いた脳神経系の機能に関する研究
	発生生物学	弓削昌弘	脊椎動物の初期発生および器官の形成と再生に関する研究
	住環境学	森田 健	生活環境の光・照明などの視環境要素が、ヒトの生体リズムに及ぼす影響に関する研究
	環境デザイン学	庄山茂子	ヒトの心理生理反応、生活行動を基にした環境デザインに関する研究
	エコライフスタイル学	豊貞佳奈子	生活行為由来環境負荷量の定量化と、快適性に着目した評価に関する研究
栄養健康科学領域	栄養学	中村 強	栄養素・食品の新規な生体機能、ならびに各種疾病における予防効果等に関する研究
	生体制御学	濱田 俊	栄養素等が神経系に与える影響、味覚器、刺胞動物を用いた進化神経生物学に関する研究
	公衆衛生学	太田雅規	疫学的な手法を用いた各種疾病の予防や健康増進を目指すための研究
	食料経済学	新開章司	国際的な食料の流通およびフードシステムにおける各主体の行動に関する研究
	調理科学	舟木淳子	調理・加工に酵素処理等を適用することによる食品物性変化に関する研究
	食品学	石川洋哉	食品科学・食品分析学の学問領域を主体とした食品成分の二次・三次機能評価および機能性食品の開発に関する研究

6 交通案内図



(付) 平成 30 年度 福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科
人間環境科学専攻博士後期課程学生募集要項
(一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜)

1 募集人員

3人

なお、志願者は「2 出願資格」の(1)～(3)の中から該当するものを選択すること。

2 出願資格

(1)一般選抜入試

次の各号の一に該当する女子が出願できる。

- ① 修士の学位や専門職学位を有する者及び取得見込みの者（法第 102 条第 1 項）
- ② 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（施行規則第 156 条第 1 号）又は入学時に学位取得見込の者
- ③ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（施行規則第 156 条第 2 号）又は入学時に学位取得見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（施行規則第 156 条第 3 号）又は入学時に学位取得見込の者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- ⑥ 本研究科において個別の入学資格審査により修士の学位を有すると同等以上の学力があると認めた者で、入学時までには 24 歳に達する者

(2)社会人選抜入試

入学時点で、大学院修士課程修了後、社会人として3年以上の経験を有する女子で、上記(1)の①から⑥のいずれかの出願資格を有するものが出願できる。

(3)外国人留学生選抜入試

日本の国籍を有しない女子で、次の各号の一に該当するものが出願できる。

- ① 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第 156 条第 1 号）及び平成 29 年 3 月までに与えられる見込みの者
- ② 外国人留学生として日本の大学院において修士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）
- ④ 本学研究科において個別の入学資格審査により修士の学位を有すると同等以上の学力があると認めた者で、平成 30 年 3 月 31 日現在で 24 歳以上の者

3 試験日

夏季試験 平成 29 年 8 月 5 日 (土)

春季試験 平成 30 年 3 月 3 日 (土)

4 試験場

福岡女子大学

5 試験日程・試験科目

※秋季試験、春季試験とも同じ試験科目、同じ時間帯で実施

入試区分	筆記試験 10:00~11:30 (90分)	口頭試問 13:00~
一般選抜入試	・英語 (辞書持込可・ただし電子辞書は不可)	これまでの研究成果や今後の研究に関する計画など (社会人選抜入試については業務歴を含む)
社会人選抜入試		
外国人留学生選抜入試		

6 出願期間

夏季試験 平成 29 年 7 月 10 日 (月) ~ 7 月 14 日 (金) 17 時まで必着

春季試験 平成 30 年 1 月 15 日 (月) ~ 1 月 19 日 (金) 17 時まで必着

7 出願手続き

入学志願者は、次の書類を「6 出願期間」の期間内に本学学務部 教務企画班に提出すること。

出願書類を郵送するときは、必ず書留速達とし、封筒表面に「大学院人間環境科学研究科人間環境科学専攻博士後期課程入学願書」と朱書きすること。

なお、提出された出願書類及び納入金は原則として返還しない。また、出願書類に不備があるものは、受理しない。(該当書類が外国語表記の場合、必ず和訳文を添付すること。)

(1) 入学願書及び受験票

本研究科指定用紙を使用のこと。

(2) 研究希望調書

希望調書については、本研究科指定用紙を使用のこと。

なお、研究希望調書の作成にあたっては志願者の希望する本学の研究室の担当教員と事前に協議すること。協議をするに当たっては、まず福岡女子大学代表電話(092-661-2411)に電話をし、本募集要項の7ページ「研究内容」一覧表に掲載している研究室担当教員を告げる。ただし、電話を受け付けるのは、土、日、祝日以外の9時から16時までとする。

(3) 成績証明書

出身大学の学籍原簿の写し又はそれに相当する単位取得を証明するもの。(要厳封)

- (4) 最終大学院の修了証明書もしくは見込証明書
- (5) 修士論文。また、修士論文以外の研究成果物がある場合は、それも併せて提出すること。修了見込みの者は、修士論文にかわるものを提出すること。いずれも、コピー可。ただし、原則として返却しない。
- (6) 入学査料は 30,000 円。納入方法は、銀行窓口での振込「電信扱」に限る。納入後は、原則として返還しない。本課程案内最終ページの入学査料振込依頼書を切り離し、太枠で囲まれている記入欄に必要事項をすべて黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さず銀行へ持参してください。ただし、振込手数料は、志願者に負担していただきます。
- 振込の後、銀行窓口で返還されたB・C票のうち、C票(「福岡女子大学(大学院)」入学査料振込金受付証明書)を、入学査料振込金受付証明書貼付用紙に貼ってください。

(7) 写真(2枚)

たて4cm×よこ3cm、正面上半身、無帽、出願期間以前3ヶ月以内に撮影したもの2枚を、それぞれ入学願書、受験票に貼付すること。

(8) 受験票返信用封筒

返信用封筒(長形3号120mm×235mm)に宛先、郵便番号を明記し、82円切手を貼付すること。

(9) 受験許可書(社会人選抜)

本募集案内にある「受験許可書」。会社及び官公庁・教育機関等に勤務している者で現職のまま入学しようとする者は、本学大学院の受験についての所属長の許可書を提出すること。

(10) 在職期間証明書(社会人選抜)

本募集案内にある「在職期間証明書

」

○障害がある入学志願者の事前相談

障害がある入学志願者で、受験上および就学上配慮を必要とする者は、相談に応じますので、事前に学務部教務企画班(092-661-2417)に相談してください。

○出願資格の事前審査について

9 ページ「2 出願資格(1)-⑥または(3)-④」により出願しようとする者についての「修士の学位を有すると同等以上の学力」の認定は、次により行う。なお、必要がある場合は面接を行う。

(1)提出書類

書類等	摘要
ア 博士後期課程 入学者選抜出願資格認定申請書	本募集案内に添付されている「入学者選抜出願資格認定申請書」
イ 「7 出願手続」に定める書類 (但し入学考査料を除く)	本募集要項の「7 出願手続」に定める書類 (入学考査料は提出しないこと)

上記ア及びイは、一括して提出すること。なお、郵送する場合は必ず書留速達とし、封筒表面に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きすること。

(2)提出期間

夏季試験 平成 29 年 6 月 12 日 (月) ～15 日 (木) 17 時まで必着

春季試験 平成 29 年 12 月 11 日 (月) ～14 日 (木) 17 時まで必着

(3)認定の結果

認定の結果は次の期日までに本人に郵便または電話で通知する。

夏季試験 平成 29 年 6 月 22 日 (木)

春季試験 平成 29 年 12 月 21 日 (木)

※認定された者は、10 ページ「6 出願期間」の期間内に「7 出願手続 (6) 入学考査料」に記載する方法により入学考査料を納入すること。

納入後はC票(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料振込金受付証明書)を、入学考査料振込金受付証明書貼付用紙に貼り付け、「6 出願期間」の期間内に本学学務部 教務企画班に提出すること。

8 合格発表

合格者の発表は、次の通りである。

夏季試験 平成 29 年 8 月 10 日 (木)

春季試験 平成 30 年 3 月 8 日 (木)

合格者には本人あてに郵送で通知する。なお、本学のホームページにおいても合格者の受験番号を掲載する。

ただし、公式の合格発表については、必ず本学掲示板又は合格通知書で確認すること。電話による可否の問い合わせは一切受け付けない。

9 入学手続き

(1) 入学手続期間

夏季試験合格者 平成 29 年 8 月 21 日 (月) ～ 8 月 25 日 (金) 17 時まで

春季試験合格者 平成 30 年 3 月 9 日 (金) ～ 3 月 15 日 (木) 17 時まで

持参の場合、受付時間は 9 時から 17 時までとする。土・日・祝日は行わない。

上記期間中に手続きを完了しない場合、入学を辞退したものと取り扱う。

(2) 提出書類

- ア. 誓約書(本研究科所定のもの。合格通知書と同封して郵送する。)
- イ. 住民票(留学生特別学生については、市町村長が発行する在留資格及び在留期間を明記したもの。出願者以外の世帯員については証明不要)
- ウ. 外国人で入学許可が出国の要件となっている国外在住者については、外務省在外公館又は日本国政府の承認した外国政府その他の発行する留学資格証明書・紹介状・推薦書等
- エ. その他必要書類等は、合格通知とともに通知する。

(3) 納入金(一部変更になる場合がある。)

入学料 県内の者 282,000 円
 県外の者 520,000 円

授業料 前期分 267,900 円(年額 535,800 円)

- ※ 入学手続きでは入学料のみの納入となります。
- ※ 入学料について「県内の者」とは、(ア)入学しようとする者の生計の主たる維持者が入学しようとする年の前年の3月1日から入学許可の日まで引き続き福岡県内に居住している者、(イ)入学しようとする者の生計の主たる維持者が勤務等の事由により県外居住者であっても、入学者を含む家族の大半が(ア)に居住している者をいう。
なお、上記の県内居住については、住民票が期間中県内にあるかどうかにより判断する。
「県外の者」とは、上記以外の者をいう。
- ※ 在学中に授業料の額の改定が行われた場合には、改定後の授業料の額が適用されます。
- ※ 本学では、平成28年熊本地震により被災した福岡女子大学志願者の入学金及び入学考査料について免除の特例措置を実施する。
詳しくは下記 URL を確認すること。
(http://www.fwu.ac.jp/exam_info/h30/)

(4) 入学手続き場所

福岡女子大学 学務部 教務企画班 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号
TEL 092-661-2417 内線 2211

(5) その他不明な点は、下記まで問い合わせること。

福岡女子大学 学務部 教務企画班 〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号
TEL 092-661-2417 内線 2211

◎外国人留学生への支援制度(平成29年度実績)

外国人留学生として本学大学院に入学した者(県外の者に限る。)には、その入学時の成績等により、入学金が半額となる制度及び、入学後の研究計画書の内容と面接により、授業料が半額となる制度があります。また、本学に設置されて学生寮に入寮することもできます。(ただし、入寮できる人数には限りがあります。)

※試験結果の開示

試験結果を本人に限り、本学学務部教務企画班において開示します。期間は、自己推薦選抜試験・夏季試験に関しては平成 29 年 10 月 23 日（月）から 11 月 2 日（木）まで。春季試験に関しては平成 30 年 4 月 9 日（月）から 4 月 20 日（金）まで。

ただし、9 時から 17 時までで（正午から 13 時まででは昼休みです）、土、日、祝日は開示を行いません。

開示を申請する際には、本大学院入試の受験票を持参してください。

平成 30 年度人間環境科学研究科【博士後期課程】入試スケジュール

夏季試験	
出願期間	平成 29 年 7 月 10 日（月）～7 月 14 日（金）17 時まで
試験日	平成 29 年 8 月 5 日（土）
合格発表	平成 29 年 8 月 10 日（木）
入学手続期間	平成 29 年 8 月 21 日（月）～8 月 25 日（金）17 時まで

春季試験	
出願期間	平成 30 年 1 月 15 日（月）～1 月 19 日（金）17 時まで
試験日	平成 30 年 3 月 3 日（土）
合格発表	平成 30 年 3 月 8 日（木）
入学手続期間	平成 30 年 3 月 9 日（金）～3 月 15 日（木）17 時まで

平成30年度 入学試験用

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入学願書【博士後期課程】

Application for Admission to the Graduate School of Health and Environmental Sciences
(Doctor's Program)

志望専攻名 Desired major	人間環境科学専攻 Doctor's Program for Health and Environmental Sciences		
選抜の区分 Category of selection (いずれかを○で囲むこと。) Circle the Category	<input type="checkbox"/> 一般選抜 General Admission <input type="checkbox"/> 社会人選抜 Admission for Working Applicants <input type="checkbox"/> 外国人留学生選抜 Foreign Students Admission		
試験日 Test Date (いずれかを○で囲むこと。) Circle one	<input type="checkbox"/> 夏季試験 Summer Test (2017年8月5日(土)) <input type="checkbox"/> 春季試験 Spring Test (2018年3月3日(土))		
フリガナ 氏名 Name		受験番号	※記入しないこと。Office use only.
生年月日 Date of birth	昭和・平成 年(西暦) 年 月 日 (満 歳)		
現住所 Present address	〒 電話(Phone) () —		
保証人 Guaranter (続柄) (Relationship)	氏名(Name) ()	住所(Address) 〒 電話(Phone) () —	
年 月 Year・Month	履歴事項(高等学校卒業から記入すること。職歴を含む。外国人留学生については小学校から記入。) Curriculum Vitae (Starting with Elementary School)		
.			写真貼付欄 Photo 写真はたて4cm、よこ3cmの大きさ 正面上半身無帽で 出願前3ヶ月以内に撮影したもの 3cm×4cm in size and taeken wihin 3 months.
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
.			
合格通知の受信場所 Address for notification of the application results	〒		

平成30年度 入学試験用

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科入試受験票【博士後期課程】

Admission Slip for Examination

志望専攻名 Desired major	人間環境科学専攻 Doctor's Program for Health and Environmental Sciences	
選抜の区分 Category of selection (いずれかを○で囲むこと。) Circle the Category	一般選抜 General Admissiion 社会人選抜 Admission for Working Applicants 外国人留学生選抜 Foreign Students Admission	
試験日 Test Date (いずれかを○で囲むこと。) Circle the Date	夏季試験 Summer Test (2017年8月5日(土))	春季試験 Spring Test (2018年3月3日(土))
フリガナ 氏名 Name		写真貼付欄 Photo 写真はたて4cm、 よこ3cmの大きさ 正面上半身無帽で 出願前3ヶ月以内 に撮影したもの 3cm×4cm in size and taeken wihin 3 months.
受験番号 Examinee No.	※記入しないこと。 Office use only.	

研究希望調書

Statement of Prospective Graduate Student Research Agenda

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科

人間環境科学専攻博士後期課程

氏名 Name		受験番号 Examinee No.	※
志望領域 Desired Field		志望研究室 Desired Area of Research(lab.)	
志望の動機（これまでに行って来た研究棟の内容についても記載して下さい。） Motivation(Describe Your Previous Academic Projects.)			
研究希望課題 Planned research topic			
希望する研究の内容 Prospective Research Agenda			

○※の[受験番号]の欄は記入しないこと。 Leave Blank.

受験許可書

福岡女子大学長 殿

受験者氏名 _____

生年月日 _____

上記の者が、平成30年度福岡女子大学大学院人間環境科学研究科学研究科博士後期課程の入学試験を受験することを許可します。

西暦 年 月 日
(平成 年)

所属機関等住所及び電話番号

〒 _____

電話番号 _____

所属機関等名

所属長名

_____ 印

在職期間証明書

Certificate of Professional Career/Employment

現住所 〒 _____
Present Address

受験者氏名 _____
Name of Applicant

Month _____ 月 Date _____ 日 / Year _____ 年

所属機関名(事業所名) Name of Institution/Company	
職 種 Position of Applicant	
在職期間 又は 在職した期間 Period in employment	自 _____ 月 _____ 日 _____ 年 Since Month _____ Date _____ /Year _____ ~ 至 _____ 月 _____ 日 _____ 年 Until Month _____ Date _____ /Year _____

住所(所在地) 〒 _____
Address of Institution/Company

勤務先名 _____
Name of Institution/Company or Employer

職 名 _____
Position

氏 名 _____
Name(Signature) ④

入学者選拔出願資格認定申請書

Application Form for Applicant's Eligibility

福岡女子大学長 殿

平成30年度福岡女子大学大学院 人間環境科学研究科博士後期課程に出願したいので、
事前審査をお願いします。

Month _____ 月 Date _____ 日 / Year _____ 年
(平成 _____ 年)

氏名
Name

印

住所
Address

〒

最終修了機関名
Last Academic Background

修了年月日
Date of Completion

Month _____ 月 Date _____ 日 / Year _____ 年

入学査料振込金受付証明書貼付用紙

福岡女子大学大学院人間環境科学研究科
人間環境科学専攻博士後期課程

入学査料振込金受付
証明書貼付欄

＜入学考査料振込依頼書＞

切り取り

A票

振込依頼書

(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料)

平成	年	月	日	科 目	電 信 扱	手 数 料	円
				福岡銀行 香椎支店	金 額	30000	円
振込先	預金種目	口座番号					
受取人	普通	2732681					
		福岡女子大学					
		(おなまえ)					
		(フリガナ)					
		氏名 (フリガナ)					
		依頼人 (志願者)					
		(おところ)					
		(電話)					

出 納 印

※【取扱金融機関へお願い】

1. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
2. B・C票は、必ず依頼人へお返しください。
3. 振込手数料は、志願者に負担していただくこととなります。

(取扱金融機関保管)

切り取り

B票

振込金受取書

(「福岡女子大学(大学院)」入学考査料)

平成	年	月	日	金 額	円
				30000	円
振込先	福岡銀行 香椎支店				
受取人	福岡女子大学				
		(フリガナ)			
		志願者 氏 名			
		手 数 料			

出 納 印

(志願者保管)

C票

「福岡女子大学(大学院)」入学考査料
振込金受付証明書

平成	年	月	日	金 額	円
				30000	円
振込先	福岡銀行 香椎支店				
受取人	福岡女子大学				
		(フリガナ)			
		志願者 氏 名			

出 納 印

(入学考査料振込金受付証明書貼付用)

(振込後C票は切り離しのうえ、指定された貼付欄に貼りつけてください)